



発行番号：第13A3947号
発行日：平成26年 3月31日

品質性能試験報告書

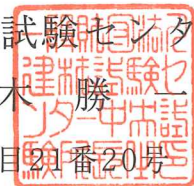
依頼者 株式会社 タ ナ カ

茨城県土浦市大畑702-1

試験名称 枠組壁工法用接合金物の引張試験

標記試験結果は本報告のとおりであることを証明します。

一般財団法人 建材試験センター
中央試験所長 黒木 勝
埼玉県草加市稲荷5丁目1番20号



品質性能試験報告書

試験名称	枠組壁工法用接合金物の引張試験						
依頼者	株式会社 タナカ						
試験体 (依頼者 提出資料)	<p>1. 接合金物 商品名：2×4用ビスどめホールダウンHi36 用途：柱脚に使用する接合金物（アンカー型） 寸法：240×45×46.5mm, 厚さ3.2mm及び4.5mm</p> <p>2. 接合具 木ねじφ7.2×75mm, 10本使用 アンカーボルト：六角ボルトM16×270mm</p> <p>3. 使用枠組 たて枠：枠組壁工法構造用製材, JAS 甲種枠組材2級, 樹種；S-P-F, 寸法；38×89mm</p> <p>4. 試験体数 7体（うち1体予備試験体） 参照：図-1及び図-2（試験体）</p>						
試験方法	「2007年 枠組壁工法建築物構造計算指針」（監修／国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室，発行／社団法人日本ツーバイフォー建築協会）の第V編「材料及び接合部の許容応力等を定める試験・評価方法とその解説」の1.2.3「接合部の基準許容応力および基準終局耐力並びに基準剛性（繰返し加力接合部試験によるもの）」に準じて行った。試験方法を図-3に示す。						
試験結果	試験体記号		試験許容応力時		試験終局耐力		試験剛性
	記号	番号	(Py) kN	(δy) mm	(Pu) kN	(δu) mm	(K) kN/cm
	HD2-250 -204	0	42.0	5.2	65.8	19.2	80.8
		1	43.9	5.1	68.1	20.3	86.1
		2	40.1	4.1	63.5	19.1	97.8
		3	42.3	4.4	66.6	18.0	96.1
		4	44.2	4.9	70.9	26.2	90.2
		5	46.7	4.8	74.3	23.2	97.3
		6	39.5	4.3	63.3	18.5	91.9
		平均	42.8	4.6	67.8	20.9	93.2
標準偏差 s		2.71	0.39	4.29	3.20	4.64	
5%下限値		36.5		57.8		—	
基準値		基準許容応力 24.3	—	基準終局耐力 57.8	—	基準剛性 93.2	
(注) 基準許容応力は試験許容応力の5%下限値に2/3を乗じた値であり，基準終局耐力は試験終局耐力の5%下限値である。また，基準剛性は試験剛性の平均値である。 参照：表-1（2/3Pmax時，最大荷重時及び破壊状況） 図-4及び図-5（荷重-変位曲線） 写真-1～写真-6（破壊状況）							
試験期間	平成26年 2月 6日						
担当者	構造グループ 統括リーダー 川上 修 統括リーダー代理 赤城 立也 高橋 慶太（主担当）						
試験場所	中央試験所						